

いろんな所で、いろんな人が、いろんなことを行うことによって、世界が変わるといふ久世さんのことば、漠然と考えていたことを、的確に教えていただいたように思います。(60代女性)

チャルカ

〜未来を紡ぐ糸車〜

10万年危険な
核のゴミ
捨てる場は何処に

日本列島にはフィンランドのオンカロ並みの地下施設を造ることはできないことがわかった。しかし、核のゴミをどう処理するべきなのか…。考えれば考えるほどわからなくなりました。(40代男性)

未来の子どもたちのために何をしなくてはいけないのか、考えなくてはいけないことについて胸に刺さりました。(50代女性)

「最終処分をどうするのか…」
一人一人が考え、関心を寄せ続けなくてはならないと思いました。人間だけの視点でなく、この世界を共有している動植物に対しても絶対に目をそむけてはならない問題だと思います。(30代女性)



チャルカとは、インドの手紡ぎ糸車のことです。
インド独立の父、ガンジーはイギリスの支配から自立するために、
自国で生産した綿花を自分たちで紡ぎ、その糸を手織りにした布(カディ)を作ろうと提唱しました。
チャルカは独立運動のシンボルです。

Good travels
at a snail's pace.



六ヶ所みらい映画プロジェクト <http://rokkashomirai.com/>